



## 2025年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月15日

上場会社名 ユーピーアール株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7065 URL <https://www.upr-net.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 酒田 義矢  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 尾口 順一 TEL 03 (3593) 1728  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年8月期第3四半期の連結業績（2024年9月1日～2025年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第3四半期	11,546	△2.2	257	△54.0	588	△25.4	316	△33.9
2024年8月期第3四半期	11,806	5.0	559	△18.4	789	△20.8	479	△24.2

(注) 包括利益 2025年8月期第3四半期 356百万円 (△29.4%) 2024年8月期第3四半期 504百万円 (△22.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第3四半期	41.36	—
2024年8月期第3四半期	62.54	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第3四半期	21,358	9,266	42.7
2024年8月期	21,470	9,025	41.6

(参考) 自己資本 2025年8月期第3四半期 9,126百万円 2024年8月期 8,922百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2025年8月期	—	0.00	—		
2025年8月期（予想）				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,600	0.9	300	△48.1	700	△20.3	380	△36.4	49.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名)ー、除外 ー社 (社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年8月期3Q	7,660,000株	2024年8月期	7,660,000株
2025年8月期3Q	504株	2024年8月期	504株
2025年8月期3Q	7,659,496株	2024年8月期3Q	7,659,516株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、個人消費の回復に時間がかかっているものの緩やかな持ち直しの動きがみられました。先行きについては、各種政策の効果もあり緩やかな回復が続くことが期待されますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっております。物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等が経済環境に与える影響には十分注意する必要があります。不透明な状況が続くものと思われま

す。物流業界においては、2025年4月1日より改正物流効率化法が施行され、すべての荷主・物流業者に物流効率化のために取り組むべき処置について努力義務を課すなど、政府は「物流の2024年問題」をはじめとする「運べなくなるリスク」に積極的な姿勢で臨み、持続可能な物流の確保に向けた対策に取り組んでおります。レンタル方式によるパレット輸送は、荷待ちや荷役時間の短縮に有効な手段であり、パレットの回収業務の負担軽減及び流出防止の仕組みもあることから高い関心を集めております。このような状況のもと、輸送用レンタルパレットの需要は順調に推移しました。一方、保管用レンタルパレットは修正予想通りに推移しました。パレットレンタルに関連する費用につきましては、パレットの保有枚数の増加に伴う減価償却費のほか、エネルギーコストや人件費の上昇に伴うデポ運営費用や運送費用の増加傾向は続いております。デポ運営費用や運送費用の増加を吸収するために前期から開始したレンタル単価への価格転嫁の効果も表れてきております。その他、支払手数料及び研究開発費・その他販管費が増加しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は11,546百万円（対前年同期比2.2%減少）、営業利益は257百万円（同54.0%減少）、経常利益は588百万円（同25.4%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は316百万円（同33.9%減少）となりました。

各セグメントの経営成績は次の通りであります。

#### （物流事業）

輸送力不足により運べなくなるリスクを回避するためにパレット輸送は有効な手段であり、レンタル方式によるパレット輸送は、パレットの回収業務の負担軽減及び流出防止の仕組みが充実しているため関心は高まっております。「運べなくなるリスク」がなかなか顕在化しない中で企業の対応にはバラつきがみられるものの、当社が取り組んでいる輸送用レンタルパレットは、前期に受注した紙加工品の取り組みがスタートし、家庭紙パレット共同利用研究会での専用パレットを活用した共同利用・共同回収の取り組み、フローズン業界での当社回収ネットワークを活用したパレット輸送での取り扱いが増加し順調に推移しました。「X-Rental®オープンプラットフォーム」

（クロスレンタルオープンプラットフォーム）を活用し、引き続きレンタル方式によるパレット輸送の拡大を図ってまいります。保管用レンタルパレットについては、依然としてモノの動きは弱いものの、修正予想通りに推移しました。販売は企業の物流拠点投資も継続しており堅調に推移しました。また、海外事業は順調に推移しました。物流IoT事業は、医薬品等の高付加価値商品輸送（GDP）は修正予想通りに推移したものの、機器販売が減少しました。アシストスーツは、サポートジャケットシリーズ新商品の販路拡大に取り組んでおります。

以上の結果、物流事業では、売上高10,826百万円（対前年同期比1.2%減少）、セグメント利益1,478百万円（同11.6%減少）となりました。

#### （コネクティッド事業）

コネクティッド事業は対前年同期比で減収となっておりますが、これは前年に一過性の売上を計上した影響であり、修正予想通りに推移しました。ICTは、駐車場監視ソリューションを中心に、ピークルソリューションは、車載器販売を中心に順調に推移しました。DXタグ®は、大口受注には至っておりませんが、牛の発情・体調管理及び物品管理の実証実験を継続しております。

以上の結果、コネクティッド事業では売上高719百万円（対前年同期比14.8%減少）、セグメント損失101百万円（前年同期はセグメント損失129百万円）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,528百万円となり、前連結会計年度末に比べ621百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が132百万円増加したこと、その他の流動資産が84百万円増加したこと、及び商品が72百万円増加した一方で、現金及び預金が909百万円減少したことによるものであります。固定資産は15,829百万円となり、前連結会計年度末に比べ509百万円増加いたしました。これは主にレンタル資産増加に伴い有形固定資産が477百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は21,358百万円となり、前連結会計年度末に比べ111百万円減少いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は5,144百万円となり、前連結会計年度末に比べ940百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が増加した1,000百万円及び買掛金が増加した148百万円増加した一方で、その他流動負債が254百万円減少したことによるものであります。また固定負債は6,947百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,293百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が増加した1,090百万円及び役員退職慰労引当金が239百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は12,091百万円となり、前連結会計年度末に比べ353百万円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は9,266百万円となり、前連結会計年度末に比べ241百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の業績予想につきましては、2025年3月31日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,507,816	2,598,435
受取手形及び売掛金	1,911,828	2,044,034
電子記録債権	127,323	130,552
商品	280,077	352,974
原材料及び貯蔵品	16,054	16,707
その他	310,362	394,489
貸倒引当金	△3,604	△8,608
流動資産合計	6,149,858	5,528,584
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産（純額）	11,167,046	11,545,824
その他（純額）	2,399,158	2,498,244
有形固定資産合計	13,566,205	14,044,069
無形固定資産	878,733	841,483
投資その他の資産		
その他	897,188	965,916
貸倒引当金	△21,950	△21,950
投資その他の資産合計	875,238	943,966
固定資産合計	15,320,177	15,829,519
資産合計	21,470,036	21,358,104

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,899,455	2,047,579
短期借入金	—	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,490,936	1,454,448
未払法人税等	28,482	12,213
賞与引当金	247,051	345,645
役員賞与引当金	—	1,748
その他	537,496	282,528
流動負債合計	4,203,422	5,144,163
固定負債		
長期借入金	7,189,736	6,098,900
役員退職慰労引当金	613,548	373,742
退職給付に係る負債	414,206	432,669
資産除去債務	16,087	16,229
その他	7,543	25,692
固定負債合計	8,241,122	6,947,234
負債合計	12,444,544	12,091,398
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	96,000	96,000
資本剰余金	391,349	391,349
利益剰余金	8,425,121	8,627,054
自己株式	△959	△959
株主資本合計	8,911,510	9,113,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,686	8,314
為替換算調整勘定	1,180	4,613
その他の包括利益累計額合計	10,867	12,928
非支配株主持分	103,113	140,334
純資産合計	9,025,491	9,266,706
負債純資産合計	21,470,036	21,358,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
売上高	11,806,421	11,546,308
売上原価	8,122,535	8,004,888
売上総利益	3,683,886	3,541,419
販売費及び一般管理費	3,124,858	3,284,091
営業利益	559,027	257,328
営業外収益		
受取利息及び配当金	890	1,331
受取補償金	236,107	360,902
その他	34,977	38,006
営業外収益合計	271,975	400,240
営業外費用		
支払利息	35,993	42,396
為替差損	—	22,638
その他	5,324	3,715
営業外費用合計	41,317	68,749
経常利益	789,685	588,819
特別利益		
固定資産売却益	416	600
特別利益合計	416	600
特別損失		
減損損失	—	54,925
その他	2,565	2,495
特別損失合計	2,565	57,420
税金等調整前四半期純利益	787,535	531,998
法人税、住民税及び事業税	294,942	128,028
法人税等調整額	△6,368	53,379
法人税等合計	288,573	181,407
四半期純利益	498,962	350,591
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,950	33,766
親会社株主に帰属する四半期純利益	479,011	316,825

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年9月1日 至 2024年5月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年9月1日 至 2025年5月31日）
四半期純利益	498,962	350,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,576	△1,372
為替換算調整勘定	8,876	6,887
その他の包括利益合計	5,300	5,515
四半期包括利益	504,262	356,107
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	482,389	318,886
非支配株主に係る四半期包括利益	21,873	37,221

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	2,093,709千円	2,332,483千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年9月1日 至 2024年5月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,961,518	844,902	11,806,421	—	11,806,421
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,961,518	844,902	11,806,421	—	11,806,421
セグメント利益又は損失(△)	1,671,578	△129,431	1,542,147	△752,461	789,685

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△752,461千円には、セグメント間取引消去△3千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△752,458千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年9月1日 至 2025年5月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,826,663	719,645	11,546,308	—	11,546,308
セグメント間の内部売上高又は振替高	37	—	37	△37	—
計	10,826,701	719,645	11,546,346	△37	11,546,308
セグメント利益又は損失(△)	1,478,397	△101,659	1,376,737	△787,918	588,819

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△787,918千円には、セグメント間取引消去△1千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△787,917千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。